



このまちのために、
時には夢中になってみる大切さを伝えたい。

— ALL FOR ONE —



福岡青年会議所

若きリーダーと社会起業家達の世界的ネットワーク

明るい豊かな社会の実現を目指して

JC運動の主体は常に「地域」です。

全国のメンバーが、自らが暮らすそれぞれの地域から、
国を考え、世界を見つめています。



The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning
and purpose to human life;

That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best be won
by free men through free enterprise;

That government should be of laws
rather than of men;

That earth's great treasure lies in
human personality;and

That service to humanity is the best
work of life.

JC宣言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

網 領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

JC三信条

1. 個人の修練
2. 社会への奉仕
3. 世界との友情

What's JC?

福岡青年会議所とは?

福岡青年会議所は
「ひとづくり」「まちづくり」を行う情熱ある青年の団体です!

「明るい豊かな社会」の実現を目指す福岡青年会議所(福岡JC)。

私たちは、よりよい福岡の「ひとづくり」「まちづくり」を行う21歳から40歳までの指導者たらんとする青年の集りです。発足から50余年を数え、これまでに「アジア太平洋こども会議の開催」や「プロ野球球団誘致活動」など様々な事業を通じて福岡の街に貢献してきました。

青年会議所運動は、全国的にも目覚ましい発展を続けています。2008年1月現在日本国内約700の都市に青年会議所があり、会員数は約4万2470名。また全世界の100を超える国や地域でも各青年会議所(NOM)が活躍していて、会員数約26万人と世界で最も大きな青年団体です。

私たち福岡青年会議所は、活動の基本を「修練」「奉仕」「友情」にしています。

この3つの信条に則り、次代を担うリーダーとなるべく、自己研鑽とメンバー同士の切磋琢磨を繰り返しながら、福岡のまちに貢献する活動を行っていきます。



青年会議所について

Q 商工会議所とは違うのですか？

A はい、違います。別の組織体です。

私達は、公益性を重んじた社会開発活動を行なうことを主な目的としており、社団法人として認可された団体です。会員登録の単位は法人ではなく個人のみとなり、メンバーは全て40歳で退会する形になります。

Q いつ集まったりするのですか？

A 月に一度、例会があり、現役メンバーが全て集まることになっています。

開催は夕方からですから、仕事に支障のない時間帯を設定しています。各委員会がそれぞれ月1回の委員会を行なっていますので、そこで、会議、勉強会、メンバー間の交流が行われます。

Q どんな人達がいますか？

A 建設業、医者、弁護士、会計士、製造業、不動産業、飲食業など、会社に勤めている方から経営者まで、ほぼ全ての業種の方がいます。

Q 具体的な活動は何ですか？

A 例会や全体事業、自分の所属する委員会での活動等になります。毎年様々な活動を行ないますので、自分自身で選択をした内容の活動に関わることが出来ます。単年度制ですから、毎年自分のやりたいことを選択できるようになっています。皆さんが日常生活、社会生活の中で「何かやりたい」と、思われた時に、福岡青年会議所は多岐にわたる活動の場があり、活動の範囲の限定をうけていません。福岡県や市等の公的機関との連携もあります。志のある方、自分なりの目的をもった方にとって、無限の可能性を提供する舞台になります。

Q 入会に何か条件があるのですか？

A 年齢枠、職場、住居などの条件があります。

入会申込み希望の方は福岡市及びその近郊(他の青年会議所が所在する地域を除く)に在勤かつ入会申込書の提出時に満21歳以上37歳未満であることが条件になります。入会希望者は紹介者(現役メンバー)によって入会が承認されるまで、様々なフォローをしてもらうことになっています。

入会までの流れ

入会
申し込み

- 必要書類を提出します。

面接



▲面接

- 4月、8月、12月に実施。
- 推薦者同席の上、面接が実施されます。

理事会
審議



▲理事会審議

- 理事会にて仮入会を審議。
- 承認後、速やかに新入準会費30,000円を納入します。

仮入会



▲オリエンテーション



- 仮入会期間は4ヶ月。
 - オリエンテーション(3回)、例会出席(3回)、委員会出席(6回)、理事会傍聴(1回)
- 上記の項目と回数以上を必ず履行してください。

理事会
審議



- 理事会にて仮入会期間の行動をチェックし、正式入会を審議。
- 承認後、入会金100,000円、年会費160,000円(1月入会の場合、5月・9月入会の場合は年額の月割りの金額となります。)を納入します。

正式会員



▲理事会審議

- 晴れて、正会員です。
- 例会にてJCバッジの授与式があります。

正式配属

- 各委員会に正式メンバーとして配属されます。
- 1月仮入会→5月、5月仮入会→9月、9月仮入会→1月



▲正会員バッジ授与



▲オールメンバーの集い



▲各種事業(写真はTour de Fukuoka)



▲委員会の様子



▲例会

先輩からのメッセージ



福岡地所株式会社 代表取締役会長
榎本 一彦氏 (1984年卒)

私 はJC時代、理事長と会頭という、ロムと日本、それぞれで大きな役を努めさせていただきました。地域の行政に係わったり、全国のJCを回り、同世代のメンバーと語り合うことでローカルとグローバル、共に理解して共に活かすということを実際に勉強することができました。このような経験はJC以外ではおそらくできないことです。だから後輩の皆さんにはできるだけ「長」と名の付く役を積極的にやってほしい。最終の決断を求められる立場での経験は、経営者としても人間としても非常に有意義なトレーニングになるはずですよ。

JC 出身・在籍中の著名人

[主なJC出身者(福岡JC)]

- ◎石坂博史(ひよこ代表取締役会長)
- ◎磯山誠二(西日本シティ銀行専務取締役)
- ◎岩本司(参議院議員)
- ◎榎本正弘(榎本興産社長)
- ◎太田誠一(前衆議院議員)
- ◎金子宜嗣(福岡トヨタ自動車会長)
- ◎河邊哲司(久原本家社長)
- ◎武田耕一(武田メガネ社長)
- ◎中村量一(中村学園理事長)
- ◎松山政司(参議院議員)
- ◎真鍋博俊(博運社社長)
- ◎三好修(三好不動産社長)
- ◎山崎拓(前衆議院議員)
- ◎山崎広太郎(元福岡市長)
- ◎吉戒孝(福岡銀行取締役専務執行役員)

[主なJC出身者(その他の地域)]

- ◎愛知治郎(仙台JC、参議院議員)
- ◎赤池誠章(甲府JC、元衆議院議員)
- ◎秋元司(東京JC、元参議院議員)
- ◎麻生太郎(飯塚JC、元内閣総理大臣 衆議院議員)
- ◎石川六郎(東京JC、鹿島建設名誉会長、日本商工会議所名誉会頭、東京商工会議所名誉会頭、工学博士/東京大学)(故)
- ◎市川團蔵(東京JC、歌舞伎役者、日本舞踊 柏木流宗家)
- ◎伊藤次郎左衛門(名古屋JC、伊藤財閥/松坂屋創業家・名誉会長、元名古屋商工会議所会頭)(故)
- ◎岩浅嘉仁(阿南JC、元衆議院議員、阿南市長)
- ◎岩波雄二郎(東京JC、岩波書店会長、『広辞苑』刊行) - 日本のJC・創立メンバー(故)
- ◎植松恵美子(さめきJC、参議院議員)

- ◎牛尾治朗(東京JC、ウシオ電機会長)
- ◎小淵恵三(群馬JC、元内閣総理大臣)(故)
- ◎越本隆志(宗像JC、元プロボクサー、WBCフェザー級王者)
- ◎菅直人(東京JC、内閣総理大臣)
- ◎黒川光博(東京JC、虎屋社長)
- ◎黒田彰一(東京JC、黒田精工会長) - 日本のJC・創立メンバー
- ◎小泉純一郎(横須賀JC、元内閣総理大臣)
- ◎鴻池祥肇(尼崎JC、参議院議員)
- ◎小宮山泰子(川越JC、衆議院議員)
- ◎坂田藤十郎(東京JC、歌舞伎役者、俳優、人間国宝)
- ◎佐治敬三(大阪JC、元サントリー会長)
- ◎山東昭子(東京JC、元女優・タレント、参議院議員)
- ◎塩川正十郎(東大阪JC、元衆議院議員、東洋大学総長)
- ◎塩崎恭久(松山JC、衆議院議員)
- ◎下村博文(東京JC、衆議院議員)
- ◎白川勝彦(上越JC、弁護士、元衆議院議員)
- ◎勝呂誉(東京JC、俳優)
- ◎鈴木寛(東京JC、参議院議員)
- ◎千玄室(京都JC、茶道裏千家 前家元、宝塚造形芸術大学大学院教授)
- ◎千宗室(京都JC、茶道裏千家 家元)
- ◎平将明(東京JC、衆議院議員)
- ◎武部勤(斜里JC、衆議院議員)
- ◎堤清二(東京JC、セゾングループオーナー、セゾン文化財団理事長)
- ◎中曾根康弘(高崎JC、元内閣総理大臣、世界平和研究所会長、拓殖大学名誉総長、東アジア共同体評議会会長、電通顧問)
- ◎西岡武夫(長崎JC、参議院議員)
- ◎西村拓郎(東京JC、日拓グループ社長)
- ◎服部禮次郎(東京JC、セイコー名誉会長、和光会長) - 日本のJC・創立メンバー
- ◎鳩山邦夫(東京JC、衆議院議員)
- ◎鳩山由紀夫(室蘭JC、前内閣総理大臣 衆議院議員)
- ◎濱野一郎(東京JC、ミサワセラミックケミカル会長) - 日本のJC・創立メンバー
- ◎姫井由美子(岡山JC、参議院議員)
- ◎平尾昌晃(東京JC、歌手、作曲家)
- ◎広田一(土佐清水JC、参議院議員)
- ◎藤原雄(備前JC、陶芸家、人間国宝)
- ◎細野豪志(三島JC、衆議院議員)
- ◎水野正人(東京JC、ミスノ会長)
- ◎三輪善兵衛(東京JC、ミツフ本舗会長) - 日本のJC・創立メンバー(東京JC初代理事長、1949年)
- ◎森稔(東京JC、森ビル社長)
- ◎森喜朗(小松JC、元内閣総理大臣 衆議院議員)
- ◎山崎富治(東京JC、元山種証券社長、山種美術館館長、山種美術財団理事長)
- ◎山花郁夫(調布JC、衆議院議員)
- ◎与謝野馨(東京JC、衆議院議員)
- ◎吉岡博光(東京JC、東京女子医科大学理事長)
- ◎渡辺周(沼津JC、衆議院議員)

2011年1月現在

MESSAGE

メンバーからのメッセージ



様 々な業種の仲間が集い、会社の規模も立場も関係ない、熱い情熱を持った若者の集団、それが私にとってのJCです。おかれた環境も異なるメンバーが一つになり、真剣に福岡のまちの為に語り合い、時には徹夜で議論をぶつけあう。会社とはまた違った貴重な経験をJCで得ることができました。40歳までという限られた時間の中で、JCはきっと皆さんにかけがえのない経験と一生の仲間を与えてくれるはずです。

- 大塚秀樹
- 株式会社 西日本新聞社
- 1973年9月生まれ
- 平成19年9月入会

自 分と自分の愛する家族が住む街のために、自らが汗を流す。これが福岡JCの原点です。青臭くても、胸を張って、大きな声で叫ぶ仲間たちが、福岡JCには大勢います。いつしか自分も大きな声で「この街をよくしよう」と叫んでいました。これは先輩方から脈々と受け継がれてきた福岡JCの伝統で、何気なく教えていただいたことが、自分の考え方の基準となっていたのです。本当に福岡青年会議所に入会してよかった。今この街のために働けることを幸せに思います。



- 富永太郎
- 福岡倉庫株式会社 代表取締役社長
- 1972年9月生まれ
- 平成9年10月入会

私 は、OBである父親の薦めで29歳の時にJCに入会しました。入会后2年が過ぎ、今の私にとってJCとは、人間関係の築き方を学び、その過程で、一生お付き合いできる友人を作ることのできる最高の場だと実感しています。女性にとって、大半のメンバーを男性が占めるJCの門を叩くことは勇気のいることだろうと思います。ですが、誰にでも平等に機会を与えられますし一番大事なことは、どれだけ前向きにそのチャンスを自分のものに出来るかです。今からの人生を充実させていく為のたくさんある選択肢の一つとして、JCを選ばれてみてはいかかでしょうか？



- 平田玲奈
- 株式会社ふく富 取締役
- 1976年6月生まれ
- 平成18年9月入会



仲 間と共に、楽しい時もつらい時も共有し、同じ目標に向かってひた走り、そして達成した時の感動。私にとってJCとは、かつて学生時代に情熱を燃やした「部活」のようなものです。社会人となった今、なかなか得られないたくさんものをJCは与えてくれました。

家庭や仕事の環境など各々がおかれた状況のなかで精一杯やればJCは必ず皆さんに得難い体験を与えてくれます。皆さん、一緒にゴールに向かって走りましょう！

- 青柳竜正
- 株式会社あおやぎ 代表取締役
- 1972年9月生まれ
- 平成19年1月入会



J Cは、様々な個性の集団です。しかし、JCは活動を通じて、苦楽を共有し合える本当の仲間に出会えます。また、JCでは職種・立場関係なく平等に機会が与えられており、在籍する一年一年を、全く違った形・立場で経験できるのも特徴の一つです。今後も福岡のまちに根差した活動を行い、必要とされる団体でありたいと思っています。是非、われわれと一緒に限られた時間を過ごしてみませんか？

- 瀬口 正
- 西部ガス株式会社 主任
- 1973年1月生まれ
- 平成18年1月入会

福岡青年会議所のこれまでの事業

やすらぎ荘支援事業



脳性まひ児をはじめ心身障害者が機能回復を目指す、動作訓練施設やすらぎ荘。(朝倉郡筑前町)

俳優の森繁久さんらが提唱した「あゆみの箱」運動によって1972年に建設されました。

福岡青年会議所では、このやすらぎ荘の理念に共鳴し、スタート時から毎年、支援事業を展開しています。

施設への募金活動や脳性まひ児のトレーニング。

メンバーたちは、この事業を通じて障がい者と直接ふれあい、障がい者やその家族の悩み、生活に対する不安不便さを「心と身体」で感じ、相互援助の気持ちを育てています。

プロ野球誘致活動



福岡の地からプロ野球の火が消えてから8年。

かつて西鉄ライオンズで沸いた博多っ子たちに再び、元気を取り戻そうと、1987年、福岡青年会議所はプロ野球誘致活動をスタートさせました。

署名活動を始め、リレーマラソン野球や市民大パレード、テレビ番組PRなど、メンバーたちが一丸となって多彩な誘致活動を展開。福岡市民とともに思いを伝え続けました。

そして88年10月、ついにその思いが実現し、福岡の地に新球団が誕生したのです。いまやホークスは福岡の文化としてしっかりと根付き、福岡市民の元気の源になっています。

アジア太平洋子ども会議



アジアの子ども達が言葉や文化の違いを乗り越えて友情を育み、豊かな国際感覚を持つ"地球人"に成長して欲しい。

そんな願いから始まったアジア太平洋子ども会議イン福岡。この巨大イベントを1989年にスタートさせたのが福岡青年会議所です。活動は年々、活発になり、今では国内はもちろんアジア中に知れ渡った一大事業に成長しました。

参加した子供たちもアジア各地で活躍し、子ども会議の精神はアジア各地でしっかりと根付いています。現在はNPO法人に活動を移管していますが、今も、福岡青年会議所は大きくかわり続けています。

福岡青年会議所の歴史

1950

- 1953年 2月4日 福岡JC結成
- 7月 西日本地区大洪水救援活動
- 1954年 10月 福岡市へ街路樹100本を贈呈
- 1955年 11月 緑の羽根運動に協賛
- 12月 松風園、若久緑園を訪問
- 1958年 3月 ライオンズクラブと共催で施設児童500名をサーカスに招待
- 10月 青年会議所全国大会を開催
- 12月 噴水「希望の泉」(動物園前)を福岡市へ贈呈

1960

- 1960年 2月 「社会の谷間」写真展開催
- 1962年 9月 福岡市長等と市政を語る会を放映
- 1963年 10月 九州縦貫自動車道建設促進要望の署名活動
- 12月 「福岡に寄せる期待と提言」を発表
- 1965年 2月 経済団体連絡会議開催
- 5月 西公園埋め立て中止を市に申し入れ
- 1967年 1月 「明日の市民生活へのビジョン」と題して座談会をRKBにて放映
- 1969年 6月 市民会議「渡辺通りに緑の大歩道を」開催

1970

- 1970年 2月 中央児童会館完成
- 4月 JCI福岡コンファレンス開催 参加19カ国、参加数2,300人
- 1971年 4月 社団法人化する
- 6月 松寿園オープン
- 1972年 7月 「やすらぎ荘」身障児招待事業
- 1973年 11月 釜山空港に時計塔を贈呈
- 1975年 5月 博多どんたく初参加
- 1976年 3月 ハワイ文化経済交流使節団派遣
- 1977年 10月 第26回全国会員大会を開催
- 1978年 4月 交通安全チビッツ大会開催
- 1979年 8月 TNC24時間チャリティマラソン番組募金運動実施

1980

- 1982年 4月 アジア難民慰問事業 於 香港
- 6月 北方領土返還要求リレーマラソン 福岡県庁前～宗像
- 1984年 12月 10,000人献血 於新天町 協力:日本赤十字福岡血液センター
やすらぎ荘支援100万人基金運動を展開
- 1985年 8月 「福岡子ども使節団」韓国派遣(釜山～慶州)
- 1986年 4月 中国経済視察団派遣
- 1987年 1月 プロ野球誘致活動(リレーマラソン野球、市民大パレード、TV番組等)
- 1988年 4月 三世代交流ゲートボール大会
- 10月 「プロ野球球団誘致」運動が実現
新球団「福岡ダイエーホークスが誕生」

1990

- 1989年 7月 日本青年会議所全国大会開催
第1回「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」開催
- 1993年 7月 Jリーグを福岡に誕生させる為の署名活動開始
- 1994年 3月 アジア太平洋ミッション地球の風使節団 実施
- 1995年 1月 阪神大震災支援物資輸送
ユニバーシアード福岡大会「ふれあい交流イベント事業」を開催。
- 1996年 6月 JCスクールビジネスセミナー開催
- 1997年 10月 医療NGOチャリティゴルフ大会実施
- 5月 地球市民の日事業「子どもサバイバルキャンプ」
- 9月 市民球団「福岡ダイエーホークス」リーグ優勝・日本一!誘致成功以来11年悲願達成
日本青年会議所に、松山会頭を輩出

2000

- 2000年 9月 「福岡ダイエーホークス」V2達成!!
- 12月 学校教育を考える討論会 テレビ放映
- 2002年 8月 ミュージカル「パーフェクトファミリー」上演
- 2003年 2月 50周年記念提言「よかばいふくおか」を発表
- 2004年 11月 JCI世界会議福岡大会を開催
- 2005年 3月 福岡西方沖地震発生
「元氣バイ福岡」等の福岡西方沖地震支援活動実施
- 10月 障害者自立支援事業「カレー屋ひまわり」を開店
東九州自動車道早期実現の署名活動実施
- 2006年 6月 オリンピック誘致活動
27万人の署名を集め福岡～東京を自転車「CHA輪PIC」号に乗って申請
- 10・11月 福岡城にちなんだオリジナル合唱曲作成の上、街頭コンサート、CD作成
福岡城モザイク貼り絵を市内6千名の子供達と作成、市役所壁面にて公開
- 年4回 佐世保学園にて青年会議所メンバー講師による職業講義開催
- 2007年 9月 福岡のプロスポーツチームの選手やコーチによる、市民参加型のスポーツ交流事業
「We are the player 2007」を開催
- 11月 食育をテーマにした事業「食育フェスティバル」を開催
- 2008年 7月 アジア太平洋子ども会議・イン福岡20周年記念式典、事業に参加、企画
- 9月 福岡JC55周年記念提言「60周年への展望」を発表
- 11月 福岡市民参加型ミュージカル「ハッピーバースデー」上演
- 2009年 8月 (社)日本青年会議所九州地区協議会「九州地区大会2009in福岡」を開催
- 8月 福岡市の子供3400人に対し「徳育のススメ ドリカムキッズ キャンパス」を開催
- 8月 約2万名の観客を集めたエンターテインメント事業
「NAKASU JAZZ NIGHT 2009」を開催
- 2010年 10月 「アジア交流首都宣言～Fukuoka未来への提言～」を発表
- 11月 全市民参加型都市型国際サイクルスポーツイベント「Tour de Fukuoka 2010」を開催



福岡青年会議所

若きリーダーと社会起業家達の世界的ネットワーク

〒812-0021 福岡市博多区築港本町13-6 ベイサイドプレイス博多C棟3F

TEL 092-263-6333 FAX 092-263-6334

<http://www.fukuoka-jc.or.jp> E-mail fjc@bekkoame.ne.jp





第 61 代理事長
田川 幸平

御挨拶

私たちの団体の目的は「明るい豊かな社会を築く」ことです。そのためには、私たち青年会議所会員一人ひとりのLeaderとしての質を高め、アグレッシブに行動していくことが大切です。青年会議所は、自己啓発や指導力養成の機関であり、職業の違う同世代が集まり、我が街FUKUOKAのことを真剣に考え、志を持って、行動していく、そんな若者の情熱が脈々と受け継がれている団体です。いつの時代もそうであったように、若者の行動こそ次代を切り開く原動力です。そして、61年目の今年も、「創始の精神」にたちかえり、熱い情熱と高い志を持って、若者らしいリスクを恐れぬ行動力で、私たちの愛する福岡の為に活動を行って参ります。本年もどうぞよろしく申し上げます。

2013年度の主な事業予定 — 福岡の活性化に繋がる事業 —

■ FUKUOKA MARATHON

エンターテイメントシティFUKUOKAの魅力と活力溢れたまちづくりの一貫としてアジアに誇る都市型マラソン「FUKUOKA MARATHON」の実現を目指します。

■ 若者

昨今の経済不況や社会保障等の問題が重圧となり、閉塞感や停滞感を感じ将来に夢や希望を抱けない若者がいます。そこでこれからの福岡を支える若い世代にやる気と勇気を与えるような事業を行います。

■ 福岡の宝

外から見た福岡のまちのイメージは、「食文化」が全国的に認知されていますが、福岡にはその他にも博多織・博多人形等の伝統文化をはじめ、沢山の有形・無形の地域の宝(魅力)が存在しています。そこで、多くの方々に福岡の個性や魅力を認識いただき、継続的な福岡のファンづくりに繋がる事業を行います。

■ 芸術文化

福岡には、長い歴史の中で育まれた多様な文化があり、さらにこの歴史を背景とした新しい芸術文化も芽生え始めています。福岡のまちがエンターテイメントシティとしての魅力を継続して発信し続けるために、新旧の芸術文化を融合した新しいFUKUOKAの芸術文化を発信します。

事業紹介

キッズモール FUKUOKA 2012



子供達と大人達が地域の中で関わり合いを持つことや子供達が自分のまちを愛する心を持たせることを目的に「唐人街商店街」にて子供達によるワゴンセールを開催しました。当日は、1000名をこえる来場者が訪れ、子供達に大人への尊敬や感謝の気持ちを醸成させることができました。

福岡マラソン祭り 福岡・食・ザ・ルーツ



スポーツに軸をおいた魅力的な街づくりを目指して、市民参加型の福岡マラソン実現に向けた機運を高める為、「ちびっこランニングスクール」「美ジョガー・クリニック」等の多彩なプログラムを企画し、マラソンの楽しさを肌で体験するイベントを開催しました。

また、当日は、「福岡・食・ザ・ルーツ」という食文化コーナーも会場に設け、昔風のもつ鍋、ラーメン、うどんを提供し、博多伝統の食の深さに触れて頂きました。



博多どんぶり フェスティバル 2011

『食』を通して、博多の魅力を発信するために、市内140店舗以上が参加して行われた食文化発信事業です。期間中、約2,000人近くの方々が、市内各店舗で「どんぶり」を堪能されました。

ASIA BEAUTY MARATHON



スポーツは、そこに住む人と環境の調和を生み、文化や都市景観、雰囲気、彩りを育み、魅力的な街づくりへとつなげる重要な要素の一つです。いま、各地でマラソンブームが巻き起こっている中、福岡においても都市型マラソンを開催する機運を高める為、女性市民マラソンを実施しました。当日は約800名の女性ランナーが参加されました。

アジア交流首都宣言



2010年、魅力的な未来の福岡のまちづくり実現のための提言『アジア交流首都宣言』を制作、発信しました。どうすれば福岡のまちがアジアに開かれるのかをJCらしい斬新な切り口で制作した提言です。次に、私たちは、実現に向けて行動を起こしていきます。そして、私たちの存在意義を確立していきます。